

班員ひとりひとり表情の違う
機関車ヘッド部。手が込んでいる！

4班



17フェロー：アリス
班を一言で表すと？
16班中最も素晴らしい(´-`)v

斜めにあしらわれた
あしあとがキュート☆



17フェロー：ゆづりちゃん
班を一言で表すと？
ほのぼの

班グッズはしゃもじ。
日本の心に溢れています。

5班



17フェロー：リョウゾウ
班を一言で表すと？
「この班でよかった～」と思えるような班。

シンプルなかにあるロゴがクール。
ってこれ、ボーロマシ？



2班

17フェロー：ともみ
班を一言で表すと？
集合がいい！（みんな協力的☆）

独自のセクシー路線が
まぶしいです。

6班



17フェロー：サイモン
班を一言で表すと？
嫁たちと姉たちみたいな関係

裏は一班で一つのメッセージが
できあがるようになってます。



3班

17フェロー：みわ
班を一言で表すと？
わきあいあい♪

今年のスタジャンはこれだ！



白×水色の配色がさわやか。
表は左胸に、裏は背中全体にアリンコがあります。



06 オリキヤン 総まとめ！

今回は、さまざまな思い出をくれたオリキヤン、
そこに到るまでの行事、関わったたくさんの方々の
思い出を振り返る、総まとめの特集です！

班全員の写真が入っている
デジタルな仕様!

15班

17フェロー：あつろう
班を一言で表すと?
日本台湾オーストラリアニュージーランド

表はかわいらしく、
裏は力強い毛筆体で名前が。

11班

17フェロー：とある
班を一言で表すと?
18主催

シンプルにみえて
表が細かい!

7班

17フェロー：ごうへい
班を一言で表すと?
ポテンシャル高いです!

フェロー、愛されすぎです。

16班

17フェロー：まっまん
班を一言で表すと?
俺の班

わくわくさんの素敵な相棒
ゴロリをイメージしたデザイン。

12班

17フェロー：わくわくさん
班を一言で表すと?
わりといい仲間たち!

キロン麦ジュースへの愛が
伝わってきます。

8班

17フェロー：くにえ
班を一言で表すと?
まったり仲よし◎

18=ゴルゴ
→テューク東郷!

13班

17フェロー：はるか
班を一言で表すと?
個人プレーの合唱団!?

おばけのQちゃんが
ラブリーかつ上手い!

9班

17フェロー：ビッシュ
班を一言で表すと?
(フェローの指導が良かったせいか)
みんな仲よしほのぼの系!

「班を一言で表すと?」という
質問は、17フェローにそれぞれ
答えて頂きました。また班T
シャツ撮影にご協力いただいた
皆さんありがとうございました。

ベースボールチームっぽい
デザインがさわやかかついい

14班

17フェロー：アビ
班を一言で表すと?
やるときはやります!

しっぽまでついている
凝りようがすごい!

10班

17フェロー：まこと
班を一言で表すと?
18→ものすごく仲がいい
17→自由すぎ(俺含む)

←
オリキャン特集は
次ページからも
まだまだ
続きます!

2006

オリキャンアンケート

今年度のオリエンテーションキャンプについてのアンケートをとらせて頂きました（18生対象）。以下、多かった意見、そして独断と偏見で選んだものを総まとめ！では、御覧あれ。

1. 総科ダンス

2. 斬り斬り舞い

3. 夜企画

ダンス強し！圧倒的でした。
他には「あの人との夜の語らい」という声も。

○今年一番楽しかった企画○

○来年こそやってみたい企画○

1. キャンプファイヤー

2. 深夜企画 3. 屋外企画

これもキャンプファイヤーが大多数！
雨が残念でしたね(ノ_<。)。..

○来年に残していきたいもの・企画○


総科ダンス・斬り斬り舞い・班Tシャツ、班グッズ・ファジー
ビデオ・今年先輩方のような細かな気遣い、態度
など他、多数！

皆さん実に色々なことを書かれていました。それだけ今年のオリキャンは楽しかったんですね～。

今年の改善すべき点、要望など

- しおりはもっと早くに渡して欲しかった。
- 一発芸をいきなりやらされるのはきつかった。
事前に知らせていて欲しい。
- バス内や、ゲーム前に無駄な待ち時間が多かった。
- 雨だったにもかかわらず、移動が長く、多いから大変だった。
- 上でやること、下でやることは分けずにまとめておくべき。
- オリキャンでは、一部の班としかふれあえなかった。
- 写真を多く撮って欲しい。
- ダンスはもっと長いほうがよい。
- 部屋で騒ぐ人がいて、寝ている人に迷惑そうだった。


みんなよく観察していますね。来年に活かせばいいです。
あと、「晴れて欲しい」という意見も…。ごもっともです。



最後に一言

- 先輩方ありがとうございました。来年はもっといいオリキャンにします！
- 来年は晴れますように！！！！
- オリキャンをきっかけにして友達が増えたり、先輩方と話せたり、かなりよかったです。ありがとうございました。
- 驚かされるばかりでした。来年は自分たちがあんな風になれるといいな～。
- 夜の語り合いが懐かしい…。
- 来年も最高のオリキャンにしたいです。できる限り協力します。

他にも多くの感謝の言葉、来年への意気込みがつづられていました。
楽しいオリキャンが過ごせたようですねによりです(*_*)。
アンケートにご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。



(記事担当 18生 野村晶二郎 レイアウト担当 17生 見世梨沙)

chife's comment

▼18生を迎え入れるため奮闘したそれぞれの企画を代表し、各企画長から、メッセージを頂きました！

みんなが協力してくれたから無事に終わりました(●^o^●)ありがとうございました☆★18もノリがいい子が多くて助かりました。個人的にとっても楽しかったです!!来年は今年よりもいいものにして下さい☆

副総代：ともみ



総代になってしたことは雨を降らせ続けたことです(笑)ハプニングが多発し大変だったオリキャンが無事に成功したのは皆が協力してくれたからです。ホントにみんなありがとう!!総科にきて良かったと改めて実感できました!

総代：ビッシュ

ひたすらビッシュのお世話係でした。雨の日も、風の日も、崖崩れの日も彼と共にいました(笑)。忙しかったけど、オリキャンを通して心底いいあって思える仲間に出会えてよかった!総科最高!!

総務長：トーマス



係の仕事を通して、新たに多くの人と知り合えたこと、一生懸命な姿を見れたことは、とてもいい思い出です。

物品長：モリソン



現地連絡はかなり知られてなかったみたいで…。ま、中間管理職です。総代と連絡の行き違いでケンカしたり、明後日が本番だと言うのに早朝から土砂崩れの連絡が入ったりと色々ありました。とりあえず、無事に終わって良かったです☆お疲れ様でした!

現地連絡：ミキティ



扱う額がとて大きかったため、責任を強く感じました。オリキャン前に仕事の大半が終わっていたので、オリキャンや前企画を存分に楽しめたと思います☆

伴ちゃん

会計

まこと

仕事自体はそんなつらいことはなく、楽しくやれました!!けど、通帳に100万円以上入ったときは無くしたらどうしようと思いました。

一年生を迎える初めての行事で、18を戸惑わせてごめんなさい(笑)前企画大成功☆楽しかったです!!ありがとうございました◎

前企画長：花ちゃん(女)



雨か晴れかで本当悩まされました。雨の時の企画を考えてなかったけど、結局外で出来て良かった!二次会の部屋分けも戸惑ったけど、皆が楽しかったって言ってくれたのが良かったです。

あや 花見長 くにえ



直前まで雨でどうしようかほんとに悩んだけど、決行することにしました。とても寒くてみんなに申し訳なかったです。しかもほぼ無計画でやってしまいました。でも一年生が楽しかったと言ってくれたから良かったです。

各企画長を中心にみんなが積極的に会議を進めてくれたお陰で、ずいぶん楽をさせてもらいました。当日は雨で出来ない企画もあり、残念な部分もありましたが18生から楽しかった、という話を聞いて安心しました。来年以降ももっと楽しいオリキャンにしていって欲しいです。



当日企画長：前やん

総科に来て良かった☆と思ってもらえるような企画にしたい！！と頑張りました。新歓長の2人は全く計画性がなくて(笑)本番直前に焦ったし、みんなにもたくさん助けってもらっちゃいました。けれど結果オーライ、大成功で終えることができました☆17も18も一緒に楽しめたので本当に良かったです♪

はるか



うまくいくかどうか不安もありましたが一年生に楽しんでもらえたので、ほんとうによかったです。新歓を通じてたくさんの人と仲良くなれたのもすごく嬉しかったです。

新歓長
いがちゃん



最後の企画?だったので胃が痛い思いをしました。おまけに、ギリギリに全体のタイムスケジュールが変わったので本気であたふたしたのを今も覚えています(笑)。ただ、打ち上げ・物品スタッフの皆が当日積極的に動いてくれてうまくいったのが救いでした。協力してくれた皆さん、本当にありがとうございます。ちなみに、打ち上げ長をやると西2の食堂部長ととても仲良くなれます。食堂の仕組みが知りたいならぜひ!!

打ち上げ長
花ちゃん(男)



もう一人の打ち上げ長の花房君がいろいろやってくれたおかげで自分は当日のみ忙しいだけでした(笑)。反省点としてはご飯が少なかったことです。みんなにはひもじい思いをさせて申し訳ありませんでした。この場を借りてお詫び申し上げますm()m

なすび



まさかの雨にみまわれ、晴れ企画がお蔵入りとなってしまいとても残念。だけど、雨企画はみんなに楽しんでいただけたものと自負しています。特に係のみんなの協力には感謝しています。

一日目昼企画長
こうへい



雨と晴れではやるのが全く違うので、より多くの企画を立てないといけなくて、当然その準備にも時間がかかった。けど、物品など皆で協力して結果的にいいものができたんで良かったです!!来年も充実した楽しいオリキャンができるよう頑張ってください☆

てっちゃん



ぎりぎりになってやるべきことが沢山みつかったかなり焦りましたが、周りの皆さんのおかげでなんとかできました。当日はあいにくの雨でしたが夜企画ではダンスなどで盛り上がりホントに感動しました!

一日目夜企画長
ふみ



数多くのカップルが出来るようにロマンチズムをモットーに色々なイベントを用意して頑張ったんですけど、雨だったんで室内になってしまっただけでカップル数が伸び悩んだことが残念です。来年は多くの人を幸せにしてください。

サイモン



みんなバイトやサークル・部活などで日程が合わないのが一番苦労しました!楽しかったのは自分たちで作ったゲームをやったりすること!残念だったのはありきたりだけど17総代が雨を降らせてしまったこと!

二日目昼企画長
グラン



あいにくの天気で、晴れ企画が出来ず、一年生や企画を準備してくれていた人たちには申し訳なかったと思います。でも雨企画にしか出せない魅力は十分に出したつもり!『面白かった』とか『お疲れ、ありがとう』って言ってもらえたのが何よりの僕の財産になりました。みんなホンマありがとう☆

アキ



まっさんに一言一句、全て同意致します。

まっきよ



私がバス企画の面々に求めたのは、貪欲なまでの笑いへの執着心と間を空けさせないトークの量とカリスマ性と健康と若干のエロスであり、皆がそれに応えた。ゆえにバス企画は成功した。ただ、それだけである。

バス企画長
まっさん



▼回答にご協力下さった皆様、ありがとうございました!。(担当 17生 見世梨沙)

オリキャン舞台裏ビデオのウラ側

オリキャンへの準備を面白くコント化して、撮影したオリキャンビデオの監督兼発案者の17生、石尾さん(以下 石)・プロデューサーの17生、サイモンさん(以下 サイ)の二人にインタビューをしました。

製作のきっかけ、理由はなんですか？

石 神の声です。

サイ 違うやろ(笑)。石尾がずっとビデオを撮りたかったらしい。

石 ビデオ撮りたかった。

サイ こういうこと(ビデオ)をやったらいいのに、なんでないんやろ、て思ってたんやってさ。

石 リハキャン前くらいからこのこと思っあって、リハキャン終わって言ってん。そのとき、おったメンバーがサイモン、ビッシュとKとまことやってん。

サイ 突然やったから、ええっ！て感じやった。「何か(具体的に)考えてるの？」て聞いたら、全然考えてない言うから、じゃ今から、練っていこう、てなって。その日に練った案がほとんど採用やな。

石 あの日に、型は、7、8制作られたな。

サイ 石尾がその話を切り出してからずっと夜の八時くらいまで話した。

石 四時間、五時間くらい話した気がする。

サイ かなりみんな夢中やった。

目的は、何だったんですか？

石 自己満足やね。

サイ 後から聞いた俺はどちらかといえ、思い出作りが強かった。石尾とは、けっこう価値観が違う。

石 それはよくあった。

サイ 作品作るうえでもよく違った。俺はみんなと協力して作っていくものやと思ってたから。

石 俺、悪者になるやんけ(笑)

サイ 感謝の意もこめて、みんなでとったコントは全部入れたくて。けど石尾はこれをいれたら、この作品が台無しになるとか言って。

石 そこまで、そこまで言うてないて(汗)

サイ バッサバッサ没にしてね(笑)

石 ないほうが面白いやろうと思って(苦)

難しかったことは？

石 人を集めることが大変だった。人を集めるという

か、いろんな会議の場所に行っても人がいないときがあって。バス企画ならバス企画の会議があるときに俺とかサイモンが行くわけ。会議とか終わった後に、「すいません。ちょっと待ってください」て言って。

サイ 「帰らないで」みたいなこと言って。

石 で撮らしてもらわなあかん。

何が楽しかったですか？

石 全部楽しかったけど。最初の言い出した日とか、ホンマに楽しかった。

サイ そうやな。あれはやばかったな。

石 (今までやりたかったことが)こんなできたで、みたいな感じやったな。

サイ 全部楽しかったな。

石 楽しかったな。

よかった点は？

サイ だいぶ仲良くなれた。

石 うん。ほんまに、それは大きい。いろんな人のいろんな面を見た。ビデオがあったからこそ、わかった。

18にメッセージ

サイ 18の石尾(何かしたくて、沸々してる人)を発掘することやね(笑)まだまだ隠れていると思う。

石 何か沸々としとう人は絶対おる。

サイ そういう人が出てくることができる環境を作ってやることも、周りの人ができることのひとつじゃないかな。

石 ほんまオリキャンがあってよかった。

サイ あとは19の人を楽しませられるような、納得の

いくオリキャンを創ってもらえたら。

石 自分が19やったら、どういものが面白いか、考えることちゃうかな～。

プロデューサー・サイモン (左)

発案&監督・石尾 (右)

二人は仲良し→



総科オリキャンの歴史を探ろう!

オリキャンはもともと全学部共同で行われていました。初めて総科として、そのオリキャンに参加したのは、総科ができた1974年(昭49)でした。

しかし、東広島キャンパス移転に伴い、学部主体で行うようになりました。総科独自のオリキャンが始まったのは、1993年(平成5年)からです。つまり、04生が05生を迎えるところから始まりました。当時のオリキャンの名前はフレンドシップキャンプ(略してフレキャン!)でした。当初の目的は、新入生、在學生、教員、事務員みんなで総科としての一体感を得ること、そして新たな人間関係を創ることでした。



仮装やファジー交換や総科コール、チクサクコール、ハイズカ、安芸の国、ファイヤードダンス…様々な企画がなされていました。

そうしてオリキャンも順調に進んでいたようでしたが、09生を迎える08、07、06生の時に危機が起こります。このとき、オリキャンの意義やマンネリ化といったことが問題となり、オリキャン存続の危機が発生したのです。06～08生は、来年のオリキャンを考える会を作り、08生もまた別に



←↑昔のオリキャンではこんな凝った仮装が!色々すごいです。

「08でオリキャンを考える会」を作りました。激しい会議が行われ、オリキャンに改良が加えられ、09生を迎えることとなります。具体的には、総科シンポジウム(総科とは?)や班別ディスカッションなどが行われました。これだけでなく、オリキャンはもっと多くの困難や危機を乗り越えて、今に続いているようです。

〔 記事担当 18生 荒川洗一
レイアウト担当 17生 見世梨沙 〕

オリキャン反省会潜入取材まとめ

今回のオリキャンを振り返って——そしてこれからをもっと良くしていくためには？

六月七日。オリキャンが終了して一ヶ月を過ぎた頃、教授方、フェローやオリキャン運営に中心的に関わった17生、そして18生フェローが集まり、今年度オリキャンの反省会が行われました。

○オリキャンを行う意義

まず話し合われたのは「オリキャンを行う意義」について。これは、一年生が大学生活に始めるよう、溶け込みやすいようにきっかけを作る場、という意見が出されました。その中で、一年生と二年生の交流・二年生同士の交流・先生方と学生との交流、という三つの点については、17生18生共に、仲良くなれる機会が充分に得られたとのことで、概ね成功との結論。先生方と学生においては、今年はスケジュール変更に伴う待ち時間が多かったこともあり、話す機会が増えたという声もありました。

○待ち時間を有意義に活用するには

しかし待ち時間によって企画の時間が減ってしまうこと、空き時間は不要だという意見が出され、待ち時間の活用についてしばし議論が為されました。その中で企画間に絶対空いてしまう時間を、プラスに一つの企画として捉えるのはどうか、という声に、学生側が意味を見出せるなら検討してもよいのでは、という声が挙が

りました。

○教職員の参加について

昨年はもう少し先生とのふれあいを持つべきという意見があったのを踏まえ、今年は班冊子を先生方にも配布。ただし反応はそれぞれで、議題は先生方のオリキャン参加についてというものに。個人のモチベーションについては別として、オリキャン終了後に班冊子が配られた班もあったということや、上記待ち時間の活用との兼ね合いで、先生方と学生の交流をどう取るかを考える必要があると言えます。

また、先生方からは、声をかけやすいようにフェローのスタジャンの色を変えてはどうか、という提案が挙がりました。

○運営側の「温度差」

昨年は二年生の参加者が多すぎる、という問題が挙げられましたが、今年はその点は感じられなかったようです。ただ、オリキャン運営において人と人との間に温度差を感じたという声も。それに対しては表に回る人、裏方に回る人、それぞれが異なる役割を果たすことに、違和感や不満を感じなければいいのでは、という意見が出ました。

参加者
ビッシュ
ともみ
トーマス
まこと
サイモン
みわ
デビ
(以上17生)
おにい
みほ
もっくん
どんべえ
(以上18生)
海堀先生
坂田先生
島先生
高谷先生
堀江先生
水羽先生
浴野先生

○開催場所

オリキャンは昨年・今年と山口県の「ふれあいパーク」で行われていますが、雨対策のために大きな体育館を備えた場所がいい、という意見が出ました。他学部が使用していた野外活動センターなどはどうかと具体的な場所の提案が出ましたが、全学で行っている行事のため、総合科学部だけではなく、他学部との話し合いや連携調整も必要である、という声も挙がりました。

今年のオリキャンは雨、そして突然の土砂崩れに見舞われ、大幅な予定変更を余儀なくされました。それによる待ち時間の使い方、雨対策、他学部との連携調整の必要性という課題も浮き彫りにされました。

それら具体的な課題に併せ、オリキャン開催当初から考え続けられてきた、『何故オリキャンを行うのか』『昨年よりもよいものにするためにはどうすればいいか』ということも考える必要があります。これは明確な回答が導き出されるものではなくても、きつとこれからも問い続けられるものではないでしょうか。

参加者それぞれが、参加することに意味を見出せるような充実したオリキャンにするためには、具体的な改善に加え、問いを繰り返すことによる試行錯誤あるのみではないか、と感じた今回の反省会でし

取材担当 18生 伊東 遙・小野未千恵
記事担当 17生 見世梨沙